



「北名古屋市国際交流協会を もっと知ってもらい、 理解してもらいたい」

北名古屋市国際交流協会会長 丹羽 幸雄

今年度4月より国際交流協会の会長になった丹羽幸雄さん。会長としての思いと、人となりをご紹介します。

—— 4月から会長さんなんですね。

はい、北名古屋市国際交流協会の会長を仰せつかった丹羽幸雄です。

—— ずっと国際関係のお仕事だったのですか？

私は、教師として長年教育現場で仕事をしておりました。豊山町の中学校にいた頃には、国際交流が始まりシドニーに中学生を派遣し、私も同行したことがあります。また、海外旅行も好きで、社会科が専門だったので、世界地図を見ることが好きです。そんな市民目線で、今までこの協会を見てきましたが、いざ中で大役を果たそうと思うと、こんなに多岐に渡って事業があるのかといまさらながら驚きました。

—— 国際交流について、どんなお考えですか？

国際交流ということを少し考えてみると、私は愛知万博がとても大きな転機になったと考えています。それまでは、外国人がたくさん日本に来ているとは言っても、やはり街で見かけることも少なかったですし、話すことなどほとんどありませんでした。日本人から、積極的に話

KIIA 北名古屋市 国際交流協会会報

vol. 25
2016. 7.

しかけることはなかったですね。しかし、万博というイベントで、たくさんの外国人と触れ合う機会もあり、市民らの意識も変わったように思えます。実際、我が家が近所に住む外国人の方と、フレンドリーにあいさつを交わしますが、それは、万博や旅行のおかげでしょう。

—— この協会については？

この協会の事業を見てみると、まさにひとつ先を行っていますね。外国人のための日本語教室も、こんなに手厚くしているところはなかなかありません。子どもたちの日本語教室から大人の教室まであります。ボランティアさんの層も厚いです。また、市民の皆さんに参加していただける英語や韓国語、中国語の教室もあります。

—— これからは？

この10年で協会が積み上げてきた実績と、今行っている事業や行事、これらのこと、市民の皆さんにしっかりお伝えし、もっと理解を深めていかなくてはいけません。ちょうど尾張中央タイムズが『北名古屋市民タイムズ』に変わって全戸配布になったこともあり、協会の会報を北名古屋市民タイムズに掲載することにしました。地道な活動をしていくことを、皆さんにこれからもどんどん発信していきます。

—— 最後に一言。

微力ながら、協会のために頑張ろうと思いますので、皆さんよろしくお願ひいたします。

4月9日、平成28年度事業

北名古屋市文化労働会館小ホールにおいて、通常総会が開催され、多くの人と交流し、世界につなぐ夢と希望を拓げるため、「国」と「民」など市民が主役になる草の根交流を推進し北名古屋市の国際交流拠点にふさわり、協会づくりをめざす平成28年度事業計画、予算案等が決定しました。

平成28年度事業

1 重点事業

- ・アジア太平洋近隣諸国を身近にする国際交流の場づくりを推進する。
- ・外国籍市民ネットワークづくりに努める。
- ・国際交流の成果を地域おこしに繋ぐ「北名古屋地域ブランドプロジェクト」を推進する。

2 事業計画

◆ 国際交流の場づくり



『協会設立10周年記念 第5回アジア太平洋フェスティバル』 アジア太平洋との国際交流の場として開催します。食と文化的交流を通して、近くで遠いアジア太平洋の国際理解を深めるため市民手作りのアイデア溢れる国際交流イベントです。

『国際フェア』 国際交流の場として、「ふれあいフェスティバル2016」、「第5回とらいあんぐるフェスティバル」などのイベントに出演します。北名古屋地域ブランド「北名古屋地域ブランドプロジェクト」の啓発キャンペーを実施します。

『国際交流子ども芸術教室』 芸大留学生と子どもたちの交流の場として、芸術教室を開講し国際理解を深めるとともに、子どもたちの国際感覚を育てます。

◆ 国際交流を活用した地域づくり

『中学生国際交流プログラム』 北名古屋市と友好提携都市韓国務安郡との国際交流事業として、中学生を相互に派遣し、交流を深め、国際理解を深めるとともに、市民が主役になる草の根交流を推進します。

『草の根交流プログラム』 韓国務安郡やアメリカンから国際交流団体等を受け入れ、派遣するなど交流を深め、市民が主役になる草の根交流を推進します。

『社会人日本語教室』 外国籍市民を対象に基礎的な日本語の習得や日本社会への適応能力を高めるための教室です。毎週、金曜日の夜、市コムニティセンターで開講します。

『子ども日本語教室』 公立小中学校に通う外籍市民の子女を対象に、日本語の支援と日常生活に必要な日本語を習得させるため、在籍の小中

学校での出張教室方式で毎週一回開講します。

『外国語講座』 一般市民を対象に、気軽にはじめる韓国語、中国語、英語の5コースを健康

ドームで開講します。

『外国語学習事業補助』 市内で語学学習を行うグループに對して、その講師料の一部を予算の範囲内で補助します。

『通訳・翻訳ボランティア派遣事業』 学校、団体や企業などの要望により通訳ボランティアを派遣するとともに、翻訳サポート等を実施します。

『北名古屋地域ブランドプロジェクト』 地域と在住外国人との共生をめざす多文化共生社会づくりにつなぐ「外国籍市民とともに：北名古屋を語ろう」や「国際結婚ファミリーと語ろう」など市民演会やビデオ映画鑑賞会等を実施します。

『多文化共生社会づくりプロジェクト』 地域と在住外国人との共生をめざす多文化共生社会づくりの暮らしを通じた交流ネットワークづくりを推進します。

『国際理解プロジェクト』 市民手

づくりで推進する国際交流をツールとした北名古屋地域ブランド「北名古屋プロジェクト」です。企画開発した「北名古屋プロジェクト」の商品を、イメージ・キャラクター「いつちゃん」を活用して啓発キャンペーンを実施します。

『多文化共生社会づくりプロジェクト』 地域と在住外国人との共生をめざす多文化共生社会づくりにつなぐ「外国籍市民とともに：北名古屋を語りたい」や「国際結婚ファミリーと語りたい」など市民演会やビデオ映画鑑賞会等を実施します。

『国際理解プロジェクト』 市民を対象に、国際理解を深めるため「世界を識るシリーズ」『国際交流を活用した地域づくりシリーズ』などの講演会やビデオ映画鑑賞会等を実施します。

『会報の発行』 7月、11月及び4月に「北名古屋市民タイムズ」を通じて、市内全世帯にお届けします。

『外国人生活相談』 地域で暮らす外国人が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設します。

『国際理解プロジェクト』 市内の団体が実施する国際交流事業について、その経費の一部を予算の範囲内で補助します。

『フェイスブックの活用』 フェイスブックを積極的に活用して、協会活動をタイムリーに公開し、



交流ネットワークを拡げ、市民参加とオープンな運営を加速させます。

〔ホームページの作成〕 協会の活動や催事の紹介、各種講座の案内、会員募集など、ホームページを更新し充実させます。外国語版は、協会登録ボランティアが作成しております。

北名古屋市国際交流協会会報

平成27年度事業報告

平成28年度収支予算書 (単位:円)	
収入の部	
負担金(会費等)	580,000
補助金・助成金	12,740,000
諸収入	1,944,000
繰越金	609,000
計	15,873,000
支出の部	
事務費	7,461,000
(報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	
事業費	8,372,000
(報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金補助金等)	
予備費	40,000
計	15,873,000

詳しくは協会までお問い合わせください

◆国際交流の場つくり

『草の根交流プログラム』 本邦から一番近いアメリカ、グアムに交流調査団を派遣するとともに、「新たな交流について」市民アンケートを実施した。「市民が主役」になる草の根の国際交流を推進した。

『社会人日本語教室』 外国籍市民の子女を対象に日本社会での適応能力を向上させ、日本語の基礎能力をつけるために開講した。

『子ども日本語教室』 市内公立小中学校に通う外国籍市民の子女を対象に日本語の学習支援と日常生活に必要な日本語を習得させるため開講した。



◆国際交流の場つくり

『第4回アジアフェスティバル』 アジア近隣諸国との交流の場として、「アジアを観て、識り、食す」をテーマに『インドネシア・バリ』にスポットを当てた国際交流イベントを市民手づくりで開催した。

『国際フェア』 国際交流の場として、「愛知万博10周年記念フェスティバル」「ふれあいフェスティバル2015」などイベントに出展した。国際交流コーナーを設置し、国際理解を深めた。

『国際文化交流子ども芸術教室』 芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講し国際理解を深め、子どもたちの国際感覚を育てた。

◆国際交流の場つくり

◆平成27年度事業報告

平成27年度決算報告 (単位:円)	
収入の部	
負担金(会費等)	556,000
補助金・助成金	11,324,000
諸収入	1,572,965
繰越金	247,051
計	13,700,016
支出の部	
事務費	7,132,198
(報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	
事業費	5,958,664
(報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金補助金等)	
予備費	0
計	13,090,862

詳しくは協会までお問い合わせください

◆国際交流の場つくり

『国際フェア』 国際交流の場として、「愛知万博10周年記念フェスティバル」「ふれあいフェスティバル2015」などイベントに出展した。国際交流コーナーを設置し、国際理解を深めた。

『国際文化交流子ども芸術教室』 芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講し国際理解を深め、子どもたちの国際感覚を育てた。

◆国際交流の場つくり

『国際フェスティバル』 国際結婚ファミリーを対象とした交流ネットワークづくり「国際結婚ファミリーと語ろう」や公共施設スタディーツアー、「北名古屋を観よう、知ろう」を実施した。

『国際理解プロジェクト』 一般市民を対象に、国際理解を深めるため、元デンマーク大使小川郷太郎氏や元スウェーデン大使大塚清郎氏などの講演会やビデオ映画鑑賞会等を実施した。

『外国人生活相談』 地域で暮らす外国人が抱えている問題とともに考える相談窓口を開設した。

『会報の発行』 7月、11月及び4月に市の広報に折り込み全戸配布した。

『フェイスブック』 フェイスブックを立ち上げ、協会活動をタイムリーに広報P.R.とともに交換を更新した。外国語版は、協会登録ボランティアを作成した。

◆国際交流を活用した地域づくり

『北名古屋地域ブランドプロジェクト』 北名古屋地域ブランド商品に繋ぐ「北名古屋特産! いちじく酵母入りのむ酢」や「いちじくジャム入りいつちゃんパン」を開発提案し、イメージ・キャラクターを活用して、「アジアフェスティバル」「愛知万博フェスティバル」などで、啓発キャンペーンを実施した。



国際結婚ファミリーと語ろう「いいとこ、わるいとこ、北名古屋のこと」

多文化共生社会づくりの取り組みとして、市内在住の国際結婚ファミリーと市民の交流を図ります。
いいこと、わるいこと、改善することなど、北名古屋での暮らしをよくするために、縦横に語り合う交流会です。

日時 平成28年9月3日(土)12時から15時まで
場所 陽だまりハウス
対象 市内在住・在勤の国際結婚ファミリー。なお、当日、外国人をサポートする市民ボランティアも募集しております。

定員 20名 定員になり次第締め切ります。
参加料 無料(昼食を用意します)

芸大留学生と一緒にモニュメントを描く

名古屋芸術大学の留学生のお兄さんお姉さんと一緒に、「まちの彫刻」を描いてみませんか?
野外美術館の楽しみ方や留学生との交流を通じて、子どもたちの国際感覚を育てましょう。

日時 平成28年7月9日(土)10時から15時まで
(途中、昼食の時間を設けます)
会場 名古屋芸術大学西キャンパスデザインU棟102号教室
対象 小学生

定員 30名 定員になり次第締め切ります。
参加料 無料
持ち物 昼食(弁当)、水筒、絵の具、クレヨン等絵画を野外で描けるように用意して来てください。(画板は協会が用意します)

「社会人日本語教室」を開講しています

日本語(ほんご)で困(こま)っていませんか? 外(ほか)国籍(こくせい)市民(しみん)の皆(みな)さんの日本語(ほんご)アップをお手伝(てつだ)いする教室(きょうしつ)です。市民(しみん)ボランティアが親切(しんせつ)丁寧(ていねい)に指導(しどう)します。

ところ 北名古屋市(きたなごやし)コミュニティセンター3階(かい)
とき 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)
19時(じ)15分(ふん)から20時(じ)45分(ぶん)
受講料(じゅこうりょう) 3か月(げつ)3,000円(えん)

日本語ボランティア募集
初めての方、大歓迎です。あなたも日本語ボランティア活動に参加しませんか? ★募集人員/若干名

各種 申し込み お問い合わせ 等は、下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地 北名古屋市役所西庁舎4階
北名古屋市国際交流協会 TEL0568(22)1111 内線2400 FAX0568(25)1800
Eメール info@kitanagoya-kiai.jp ホームページ <http://www.kitanagoya-kiai.jp> フェイスブック <https://www.facebook.com/kitanagoyakilia>

◆国際交流を活用した地域づくり

『北名古屋地域ブランドプロジェクト』 北名古屋地域ブランド商品に繋ぐ「北名古屋特産! いちじく酵母入りのむ酢」や「いちじくジャム入りいつちゃんパン」を開発提案し、イメージ・キャラクターを活用して、「アジアフェスティバル」「愛知万博フェスティバル」などで、啓発キャンペーンを実施した。

今年は二人にとって高校入試で試験に合格しました。公立高校に合格できました」と満面の笑顔で合格証を見せてくれました。担任の協力で行うことができました。

熊野中学校に二年半前の八月末に、タイから三人の男子が来日し九月から一年生に編入、私が担当となりました。片山の日本語しかわらなかつたが二人は真面目で努力家で人柄の良い生徒でしたので大好きになりました。

今年は二人にとって高校入試で試験に合格しました。公立高校に重圧を感じました。二月末の日本語教室最終日に、二人は直立不動の姿勢で「先生ありがとうございます」と満面の笑顔で合格証を見せてくれました。担任の協力で行うことができました。

私たちの国際交流

北名古屋市が誕生した一年後に国際交流協会が発足。その半年後に成人の日本語教室が始まり、その後小・中学生にも活動が拡大しました。二十七年は小学校十校中九校、中学校は六校中四校に出席授業を多くのボランティアで実施しました。

四年後には小学生十校中九校、中学校は六校中四校に出席授業を多くのボランティアで実施しました。北名古屋市が誕生した一年後に国際交流協会が発足。その後四年後には成人の日本語教室が始まり、その後小・中学生にも活動が拡大しました。二十七年は小学校十校中九校、中学校は六校中四校に出席授業を多くのボランティアで実施しました。

四年後には成人の日本語教室が始まり、その後小・中学生にも活動が拡大しました。二十七年は小学校十校中九校、中学校は六校中四校に出席授業を多くのボランティアで実施しました。北名古屋市が誕生した一年後に国際交流協会が発足。その後四年後には成人の日本語教室が始まり、その後小・中学生にも活動が拡大しました。二十七年は小学校十校中九校、中学校は六校中四校に出席授業を多くのボランティアで実施しました。